



令和8年度（2026年度）八代教育事務所取組の重点  
 やつしろのすべての子供たちに「夢」に向かって自ら学ぶ喜びを  
 ～ともに支える 子供たちの未来のために～

| 「確かな学力」の育成  | 「豊かな心」の育成  | 「健康・体力」の育成  | 家庭教育支援・地域学校協働活動・生涯学習振興  |
|---|--|---|---|
| <p><b>1 「熊本の学び」の推進</b><br/>           (1) 学習の基盤となる資質・能力（読み解く力等）を高める取組の推進<br/>           (2) 「わかる・できる授業づくり」を実現する教職員の授業力の向上<br/>           (3) 「安心して学べる学級づくり」を実現する教職員の学級経営力及び生徒指導力の向上</p> <p><b>2 英語指導・日本語指導の充実</b><br/>           (1) 児童生徒の英語力向上につながる基礎的・基本的事項の確実な習得に向けた取組の充実<br/>           (2) 中学校卒業時における CEFR A1 レベル（英検3級相当）の英語力を身に付けるための取組の推進<br/>           (3) 日本語指導が必要な児童生徒への特別な配慮に基づく支援の充実</p> | <p><b>1 生徒指導の充実</b><br/>           (1) 安全で安心な居場所づくりの推進及び学校内外の専門機関と連携した生活習慣の改善を図る取組と未然防止・早期支援による不登校対策の強化<br/>           (2) いじめに向かわない態度・能力を育む教育の推進</p> <p><b>2 道徳教育の充実</b><br/>           (1) よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う道徳教育の充実とその要となる道徳科の授業改善<br/>           (2) 情報モラル教育の充実と ICT 機器を適正に活用する力の育成</p> <p><b>3 就学前教育の充実</b><br/>           (1) 円滑な接続に向けた「くまもとスタンダード」の有効活用と着実な実践<br/>           (2) 幼児教育アドバイザー派遣による円滑な接続の質の向上</p> | <p><b>1 学校体育の充実と児童生徒の体力向上に係る取組の推進</b><br/>           (1) 体育・保健体育学習の充実と運動の日常化・習慣化に向けた取組の推進<br/>           (2) 学校と地域が連携した適正な運動部活動及びスポーツ活動の推進</p> <p><b>2 健康教育の充実と保健・給食管理の徹底</b><br/>           (1) 健康教育の充実と児童生徒の望ましい食生活を育む指導の充実<br/>           (2) 適正かつ計画的な保健・給食管理の徹底</p> <p><b>3 安全教育及び安全管理の充実</b><br/>           (1) 「くまもと学校防災月間」等の取組を基盤とした防災教育と学校安全管理の一層の充実<br/>           (2) 自他の命を守る行動や安全な交通社会づくりに参加・協力する態度を身に付ける交通安全教育の推進</p> | <p><b>1 家庭教育支援の充実</b><br/>           (1) くまもと家庭教育支援条例に基づいた家庭教育支援の啓発・促進<br/>           (2) 「親の学び」講座の就学前施設における実施率の向上と中学生を対象とした「次世代編」実施の拡大<br/>           (3) 「家庭教育支援員」等を核とした家庭教育支援を担う人材の育成</p> <p><b>2 地域学校協働活動の推進</b><br/>           (1) 各学校が育成を目指す資質・能力を、児童生徒・学校・家庭・地域・行政の五者で共有し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、地域のよさを生かした活動の充実を図る。<br/>           (2) 地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりを推進するため、高校生等を含む幅広い地域人材の参画を得て、活動の充実を図る。</p> <p><b>3 生涯学習の振興</b><br/>           子供の読書習慣定着に資する図書館づくりに向けた「肥後っ子いきいき読書アドバイザー」活用の促進</p> <p><b>4 生涯スポーツ社会の実現のための環境づくり</b><br/>           中学校部活動（文化部活動を含む）の地域移行（地域展開）に係る連携・協働</p> |

| 特別支援教育の推進  | 社会に開かれた教育課程の実現   | 教育効果を高めるための学校改革の推進  |
|--|--|---|
| <p><b>1 自立と社会参加を見据えた指導・支援の充実</b><br/>           (1) 教育的ニーズに応える「学びの場の適正選択」の推進<br/>           (2) 特別支援学級等における教育課程の編成と確実な実践<br/>           (3) 自立活動の充実とその成果を活かした実践</p> <p><b>2 インクルーシブ教育システムの構築</b><br/>           (1) 全教職員の特別支援教育に係る資質と専門性の向上<br/>           (2) 交流および共同学習の活動の意義やねらいを明確にした計画的・継続的な実践</p> | <p><b>1 教育効果を最大化するカリキュラム・マネジメントの確立</b><br/>           (1) 地域の人的・物的資源を有効活用した豊かな学び（「総合的な学習の時間」等）の実践と自分らしく生きる力を育むキャリア教育の充実<br/>           (2) 教科横断的な視点に基づく「探究的な学び」による、児童生徒の資質・能力の育成</p> | <p><b>1 教職員の業務改善への意識改革</b><br/>           (1) 教職員のアイデアを生かした働き方改革<br/>           (2) 超過勤務時間縮減に資する校内衛生委員会等の開催と有効な業務改善</p> <p><b>2 子供と向き合う時間の確保</b><br/>           (1) 教育効果を考慮した業務等の効率化（教育 DX）<br/>           (2) 教員業務支援員等の人材の有効活用</p> |

人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の総合的かつ計画的な推進・八代の教職員としての矜持の自覚

- **豊かな人権意識の高揚及び人権教育の日常化**
  - (1) 教育の根幹に人権教育を据え、学校（園）や地域におけるこれまでの取組の成果と課題を踏まえた推進体制の機能強化と研修の充実
  - (2) 人権尊重の意識を高め、様々な人権問題に対し自分のこととして考え、自他の人権を守る実践的な行動ができる子供を育む指導方法等の工夫・改善
  - (3) 様々な人権問題についての基本的認識を深め、実践的な指導力を高める研修の充実
  - (4) 関係機関・関係団体との連携強化の推進
- **学校組織マネジメントを発揮した特色ある学校づくり**
  - (1) 八代の教職員としての自覚と誇りを持ち、職員一人一人が主体的に専門性や強みを生かして参画する学校運営
  - (2) 魅力ある学校づくりに向けた各学校の特色ある取組の推進
  - (3) 人権教育及び特別支援教育の視点に基づく児童生徒への丁寧な関わりや保護者等との連携・協働
- **教職員による不祥事の未然防止**
  - (1) 不祥事につながる予兆に気付き、注意喚起し合える風通しのよい職場づくりの推進
  - (2) 教育公務員としての自覚を深め、自分のこととして捉えた、主体的な研修の工夫改善